

## 2014 SUPER GTクライマックス! タイトルを賭けた最後の戦いが今始まる!!



2014 AUTOBACS SUPER GT ROUND8  
**MOTEGI GT 250KM RACE**

**11.15** 予選 **[土]** **16** 決勝 **[日]**

“森と走る、森と遊ぶ、森と笑う。”森の中のモビリティテーマパーク ツインリンクもてぎ(栃木県茂木町)にて、11月15日(土)・16日(日)に、「2014 AUTOBACS SUPER GT Round8 もてぎGT250kmレース」を開催いたします。

SUPER GTの2014年シーズン最終戦となる本大会は、GT500クラスは5チームが、GT300クラスは3チームがチャンピオンをかけて挑む、まさに今シーズン最高の戦いの舞台となります。

また11月14日(金)の公式テストから16日(日)決勝レース後に行われるグランドフィナーレまで、3日間に渡りイベントも盛りだくさんの内容でお届けします。



2013年 スタートシーン

- ・大会名称 2014 AUTOBACS SUPER GT Round8 もてぎGT250kmレース
- ・開催日 2014年11月15日(土)・16日(日)
- ・主催 株式会社モビリティランド  
エム・オー・スポーツクラブ(M.O.S.C.)
- ・公認 国際自動車連盟(FIA)  
一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)
- ・認定 株式会社GTアソシエーション

### 11月14日(金)は公式テストを開催!

前売観戦券をお持ちの方、および女性同伴のグループの方は、無料で入場・観戦いただけます。  
 ※駐車料金は対象の方が乗車のお車のみ無料です。

## 見どころ

### GT500クラスのタイトル争いは近年稀に見る大混戦！ レクサス、ニッサン、Hondaの3陣営5チームが可能性を残して 最終決戦に臨む!!

4月の開幕戦以来激戦を展開してきたSUPER GTもいよいよ最終第8戦を迎えます。レクサスRC F、ニッサンGT-Rが先行し、後半戦に入ってHonda NSX CONCEPT-GTが逆襲。GT500クラスはランキング上位5チームがタイトルの可能性を残して決戦の地ツインリンクもてぎに乗り込む、近年にない大接戦となっています。

第6戦、第7戦と連勝したPETRONAS TOM'S RC Fのジェームス・ロシターが67ポイントでランキングトップ。ロシターとともに優勝を飾った中嶋一貴は第2戦、第3戦を欠場したため現在ランク5位。開幕戦優勝の伊藤大輔/アンドレア・カルダレッリ組(KeePer TOM'S RC F)がわずか3ポイント差の2位。さらに3ポイント差で松田次生/ロニー・クインタレッリ組(MOTUL AUTECH GT-R)が続き、1ポイント差の4位に安田裕信/ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ組(カルソニックIMPUL GT-R)。5位中嶋一貴を挟んで6位ウイダー・モデューロ NSX CONCEPT-GTの山本尚貴(コンビを組むフレデリック・マコヴィツキは第4戦から出場)と続く展開となっています。



PETRONAS TOM'S RC F



KeePer TOM'S RC F



MOTUL AUTECH GT-R



カルソニックIMPUL GT-R

### 表彰台圏内でライバルに先着することがタイトルの条件！ 歴史に残る激戦の予感

タイトル争いの中で優位に立つチームはないと言っている状況です。ランキングトップ2チームはライバルの前でゴールすることが絶対条件。ランキング3、4位の松田次生組、安田裕信組はやはり優勝、最低でも表彰台が条件となります。ランキング6位の山本尚貴もタイトルのためには優勝が絶対条件。それでもロシターは4位に入れば山本を上回ることができます。いずれにせよライバルの前で、それも表彰台圏内でゴールすることがタイトル獲得となる大接戦。SUPER GT史上に残るような激しい争いが見られそうです。

#### ■タイトル獲得条件

No	ドライバー	マシン	現在	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下
36	J・ロシター	PETRONAS TOM'S RC F	67	87	82	78	75	73	72	71	70	69	68	67
37	伊藤大輔 A・カルダレッリ	KeePer TOM'S RC F	64	84	79	75	72	70	69	68	67	66	65	64
23	松田次生 R・クインタレッリ	MOTUL AUTECH GT-R	61	81	76	72	69	67	66	65	64	63	62	61
12	安田裕信 JP・デ・オリベイラ	カルソニックIMPUL GT-R	60	80	75	71	68	66	65	64	63	62	61	60
18	山本尚貴	ウイダー モデューロ NSX CONCEPT-GT	53	73	68	64	61	59	58	57	56	55	54	53

※ランキング5位の中嶋一貴は最終戦での獲得ポイントがチームメイトのJ・ロシターと同ポイントのため、チャンピオンの可能性は無し

## 伊沢拓也がウイダーモデューロNSX CONCEPT-GTで参戦! 山本尚貴との最強コンビ誕生!!



伊沢拓也

今シーズンヨーロッパを中心にGP2シリーズで活躍している伊沢拓也の参戦が決定。ウイダーモデューロNSX CONCEPT-GTで山本尚貴とコンビを組むことになりました。伊沢は昨年RAYBRIGチームで小暮卓史とコンビを組み優勝、3位を各1回記録。その前は2010年から山本とコンビを組んで3年間で2位3回、3位2回の好成績を残しています。一方の山本は今シーズン第4戦でNSX CONCEPT-GTの初優勝を記録するなど、ともにHonda陣営をけん引するエースドライバー。まさに最強コンビが誕生したわけです。ランキング6位の山本はタイトルのためには優勝が絶対条件なだけに、伊沢の参戦は心強いもの。予選からトップ争いに加わってくるのは間違いなさそうです。



ウイダーモデューロ  
NSX CONCEPT-GT



山本尚貴

## 開幕戦以来のハンディ・ゼロ! 新生GT500驚異のスピードがツインリンクもてぎで復活!

今年のGT500クラスは大きく変わりました。ドイツツーリングカー選手権との共通化を図った車両規定が導入され、エンジンも2000cc直列4気筒直噴ターボに変更。レクサス、ニッサン、Hondaとも新型車両を開発し、これまでにない速さを見せることになりました。開幕戦岡山国際サーキットで記録されたポールポジションタイムは1分19秒404。それまでのコースレコードを一気に3秒も短縮すると、続く富士スピードウェイの第2戦もレコードを1秒9も短縮。オートポリスの第3戦もレコードを一気に3秒6も縮めました。

SUPER GTは獲得したポイントに対して2kgのハンディが課されます。優勝すれば20ポイント獲得できると同時に次戦では40kgの重りを搭載しなければなりません。これは上限の100kgまで加算されます(今年GT500クラスはハンディが50kgを超えた場合、50kg分を燃料調整に置き換えることができます)。その分スピードも落ちてくるわけですが、このハンディが第7戦で半減され、最終戦で撤廃されます。つまりシーズン当初の驚異的なスピードが復活するわけで、新生GT500マシンはどんな速さでツインリンクもてぎを駆け抜けるのかが注目されます。



※写真はイメージです(第5戦 インターナショナル鈴鹿1000kmにて)

## 表彰台を狙う地元勢山本尚貴、塚越広大、小暮卓史 ホームコースでNSX CONCEPT-GT勢が大暴れの予感！

今年序盤で苦戦を強いられたHonda NSX CONCEPT-GT勢でしたが第4戦で塚越広大/金石年弘組(KEIHIN NSX CONCEPT-GT)が初の表彰台となる3位を獲得すると、続く第5戦の予選で塚越組が初のポールポジションを獲得。決勝も山本尚貴/フレデリック・マコヴィツキ組(ウイダーモデューロNSX CONCEPT-GT)が予選6位から追いついて初優勝を記録し、完全復活を遂げました。

加えてツインリンクもてぎはHonda勢のホームコース。毎年強さを見せるだけに、今年も優勝争いに加わってることが予想されます。中でも地元栃木県出身の山本尚貴、塚越広大。さらに群馬県出身の小暮卓史(RAYBRIG NSX CONCEPT-GT)に注目です。毎年地元の大応援団が駆けつけるだけに気合十分。後半戦に入ってからNSX CONCEPT-GTの戦いぶりを考えれば予選のポールポジション争いはもちろん、決勝もトップ争いに加わってきそうです。タイトル争いと同時にNSX CONCEPT-GTの速さも最終戦の大きな見どころとなってきました。



塚越広大



小暮卓史

## GT300も最終決戦！ BMW Z4谷口信輝組、メルセデスSLS平中克幸組、BMW Z4荒聖治組が三つ巴のチャンピオン争いを展開

GT300クラスは第7戦でGT-Rの星野一樹/ルーカス・オールドネス組(B-MAX NDDP GT-R)が今季初優勝。ヨルグ・ミュラー/荒聖治組(Studie BMW Z4)、谷口信輝/片岡龍也組(グッドスマイル初音ミクBMW Z4)が2位、3位に入り、この結果今季開幕戦から2連勝を飾ったBMW Z4谷口組がランキングトップをキープ。9ポイント差のランク2位にメルセデスの平中克幸/ビヨン・ビルドハイム組(GAINER DIXCEL SLS)、BMW Z4の荒聖治組が並び、三つ巴のタイトル争いとなりました。

ツインリンクもてぎは昨年平中克幸組が優勝。谷口信輝も2011年に優勝を飾った得意コース。荒聖治も昨年までGT500クラスで戦い、ツインリンクもてぎでもたびたび上位争いを展開するなど、どのチームが勝ってもおかしくない、まさに互角の戦いとなりそうです。さらに一矢報いようと優勝を狙うチームは多く、これがタイトル争いに影響を与えるのは確実。GT500同様最終ラップまで行方が分からない接戦が展開されそうです。



グッドスマイル初音ミク  
BMW Z4



GAINER DIXCEL SLS



Studie BMW Z4

### ■タイトル獲得条件

No	ドライバー	マシン	現在	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下
4	谷口信輝 片岡龍也	グッドスマイル 初音ミク Z4	67	87	82	78	75	73	72	71	70	69	68	67
11	平中克幸 B・ビヨンハイム	GAINER DIXCEL SLS	58	78	73	69	66	64	63	62	61	60	59	58
7	Y・ミュラー 荒 聖治	Studie BMW Z4	58	78	73	69	66	64	63	62	61	60	59	58

## 観戦情報

### 11月15日(土)予選日はビクトリースタンドも90度コーナーも、全席自由席！

※パドック、VIPスイートを除く

予選日はパドック、VIPスイートを除く全席が自由席。最終コーナー、1コーナー、130R～S字～V字～ヘアピン手前の観戦席に加え、話題の新観戦エリア「ビクトリースタンド」や、フルブレーキングで90度コーナーに飛び込むマシンが見られる「G席」「Z席」からもご観戦いただけます。

また決勝日はビクトリースタンド指定席券をお持ちの方のみがご利用いただけるスペース、「ホスピタリティガーデン」も予選日は開放。フードコートやレストスペースなど、様々なおもてなしを展開する「ホスピタリティガーデン」を是非ご利用ください。

※ビクトリースタンド指定席はご好評により完売いたしました。

### 最大のパッシングポイントでレースを観戦しよう！

### 90度コーナー、G席・Z席指定席券 好評発売中！

最大のバトルポイントとなるダウンヒルストレートから90度コーナー。このバトルを思う存分楽しめるのがG席・Z席です。90度コーナーのイン側にあるG席は、ダウンヒルストレートで最高速に達したGTマシンがバトルを繰り広げながらフルブレーキングでつっこんでくる姿を、90度コーナーのイン側からご覧いただけます。G席の向かい側に設置された人気のZ席は、そのバトルをアウト側からご覧いただけます。またZ席は正面に設置されたビジョンでレースを把握しながら観戦できるのも魅力です。

#### ■前売G席・Z席指定席券(2日通し券)

	G席 (観戦券+座席指定席券)	Z席 (観戦券+座席指定席券)
大人(高校生以上)	6,200円	7,300円
子ども(3歳～中学生)	1,100円	1,600円



G席の様子



Z席より90度コーナーを望む

## 自由観戦エリア おすすめの観戦ポイント！

### ■最終コーナー、3～4コーナーの攻防が手に取るようにわかる！

旧C席上は自由観戦エリア。90度コーナー先の立体交差からホームストレートまでの攻防、さらには3～4コーナーの攻防が手に取るように分かります。さらには誰よりも先にピットインする車両を見られるとともに、ピットイン時の順位争いも確認することができる席です。

### ■迫力満点！最高速の攻防が見られるダウンヒルストレート

ヘアピンからダウンヒルストレート、そして90度コーナーまでの間は最大のパッシングポイント。また最高速近くに達したSUPER Gマシンが目の前を走り抜ける、迫力満点の走行シーンを間近で見られる席でもあります。

### ■信じられない速度でコーナーリングするマシンを間近で見られる130R～V字

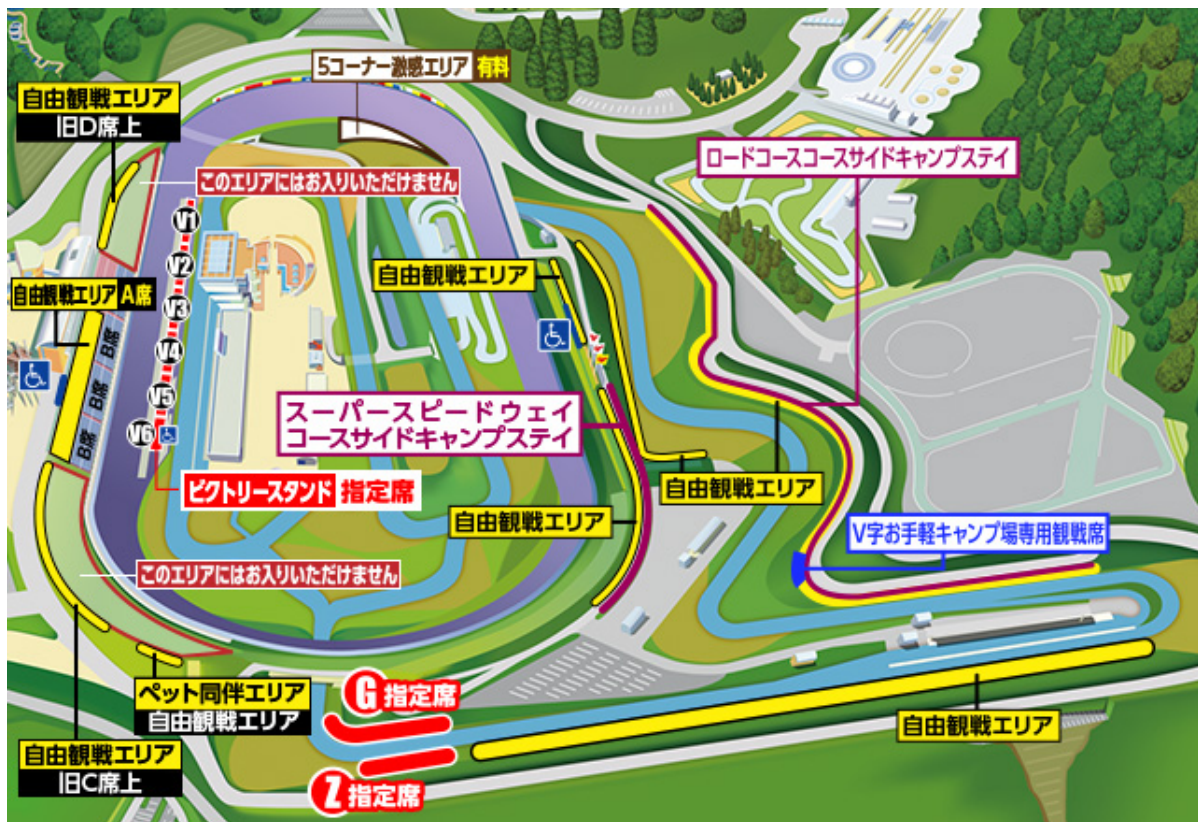
5コーナー先の立体交差からV字コーナーまではSUPER GTマシンの能力が一番発揮されるポイント。130Rを立ち上がり、リズミカルにS字を走り抜け、ブレーキングからV字コーナーへ。130RからV字コーナーにかけてはアウト側・イン側ともに自由席があり、自分の好みの場所から迫力のレースを観戦いただけます。

### ■前売観戦券(2日通し券)

大人(高校生以上)	子ども(3歳～中学生)	学割(高校生以上の学生)
5,200円	無料	2,600円

※お子様のレース観戦には、観戦券をお持ちの大人の方の同伴が必要となります。

## 観戦券エリアマップ



チケットの詳細はツインリンクもてぎホームページ(<http://www.twinring.jp>)をご覧ください

## イベント情報

### SUPER GT最終戦は11月14日(金)からイベント盛りだくさん！

11月14日(金)に行われる公式テストから予選日15日(土)、決勝日16日(日)まで、3日間に渡りイベント盛りだくさんの内容でお届けします。

#### 主なイベント

##### ■公式テスト限定！オープンピット

無料でオープンピットを開催させていただきます。満員御礼の土日のピットウォークに比べると、ゆったりお楽しみいただけます。

日時：11月14日(金)12:00～12:45

場所：ピットロード

※11月15日(土)、16日(日)に開催するピットウォークは有料(2,000円)です。



##### ■最終戦を制するのは誰だ？シリーズチャンピオン予想投票

GT500とGT300両クラスのシリーズチャンピオンチームを予想していただき、見事両クラスの予想を的中させた方の中から抽選(4名様)で実際にレースで使用したチェッカーフラッグにシリーズチャンピオンのサインを入れてプレゼントいたします。

投票受付：11月15日(土)7:30～16:30

11月16日(日)8:00～14:00

場所：グランドスタンドプラザ優勝予想特設ブース

※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。



##### ■グランドフィナーレ

GT500クラス、GT300クラスの全ドライバーが登場し、1年間支えていただいたファンの皆さまと共に2014年を締めくくるフィナーレセレモニーを開催いたします。

日時：11月16日(日)15:45～

場所：ポディウム(予定)



##### ■栃木県警察本部 白バイ・パトカー先導走行

栃木県警察本部の協力のもと交通安全啓発活動を実施いたします。

当日は「NSXパトカー」や「白バイ」をピット上に展示する(ピットウォーク実施時)

ほか、決勝レース前にこれらの警察車両がGTマシンを先導する予定です。

日時：11月16日(日)ピットウォーク開催時

※警察車両の先導走行は決勝レース前のみの実施です。

※当日の天候などにより内容変更の可能性あります。



※写真はイメージです